

聖餐式の言葉から

2. キリエ・エレイソン（主よ、憐れみをお与えください）

キリエ・エレイソン（主よ、憐れみをお与えください）はギリシア語です。

キュリエ エレーソン
κύριε, ἐλέησον

新約聖書は、当時の地中海世界共通語であるギリシア語で書かれました。そこに含まれるギリシア語の祈り求めの言葉が、わたしたちの聖餐式にまで継承されてきたのです。

キリエ エレーソン
「主よ、息子を憐れんでください」

イエスにこう訴えたのは、発作の病に苦しむ息子をかかえた父親でした（マタイ 17:15）。やがてその子は癒やされました。

またエリコの盲人バルティマイは、「ダビデの子イエスよ、わたしを憐れんでください」と叫んでイエスを呼び止め、見えるようにされてイエスに従いました。

聖餐式の中で、わたしたちも自分の困難や願い、人の困難や願いを携えて、キリエ・エレイソン（主よ、憐れみをお与えください）と主に切に祈り求めましょう。

主は憐れみ深い方であって、祈り求めるわたしたちをけっして無視されません。

主は憐れみ深く、恵みに富み
忍耐強く、慈しみは大きい。

詩編 103:8

イエスは、群衆が飼い主のいない羊のように弱り果て、
打ちひしがれているのを見て、深く憐れまれた。

マタイによる福音書 9:36

予定

1. 主イエス・キリストよ、おいでください（参入）
2. キリエ・エレイソン（主よ、憐れみをお与えください）
3. いと高きところには神に栄光（大栄光の歌）
4. 聖書のみ言葉を聞きましょう（聖書）
5. わたしたちは信じます（信経）
6. 全公会のため、また世界のために祈りましょう（代祷）
7. 罪を懺悔しましょう（懺悔）
8. 主の平和が皆さんとともに（平和の挨拶）
9. すべてのものは主の賜物（奉献）
10. 心を神に（スルスム・コルダ）
11. 聖なるかな（サンクトゥス）
12. このパンとぶどう酒を祝し（祈求・エピクレシス）
13. わたしを記念するため、このように行いなさい
（想起・アナムネーシス）
14. 天におられるわたしたちの父よ（主の祈り）
15. 世の罪を除く神の小羊（アニュス・デイ）
16. あなたのために与えられた主イエス・キリストの体
（陪餐）
17. 父と子と聖霊なる全能の神の恵みが（祝福・派遣）